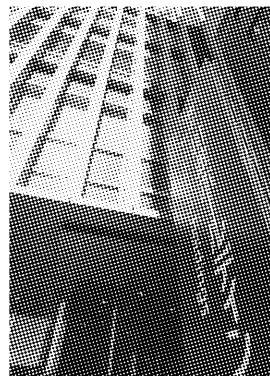


# 川金、半導体装置向け拡大

## 素形材3子会社設備更新

【さいたま】川金ホールディングス（HD、埼玉県川口市、鈴木信吉社長）は、鋳物など素形材の生産設備を増強する。AI（人工知能）向け半導体が世界中で逼迫（ひっぱ）し半導体製造装置



現在、川金HDでは半導体装置向け素形材

の需要が強まる中、同装置向け素形材のニーズに対応し商機を取り込む。4月以降順次着工し、2027年3月までに稼働する計画だ。

の引き合いが強まって半導体製造装置向けに非常な活況。これまでにないぐに半導体製造装置向け川金HDは素形材事業を担う3子会社（川金HD本社）に投資する。老朽化した設備を入れ替え、保守・メンテナンスを実施する。投資額は約20億円。

一方、業績をけん引してきた橋梁支承などの土木建築機材事業は伸び悩んでいる。同社は堅調に成長する素形材事業への投資を強化して土木建築機材事業の業績不振を補い、成長を維持する。これにより27年3月期の売上高で、25年3月期見込み比約25%増の500億円を目指す。

「このほか工作機械向け部品の需要も拡大しているという。設備を更新するのは素形材事業を担う3子会社。工作機械向け部品を作る川口金屬加工（東京都千代田区）の兵庫工場（兵庫県加西市）、電力・製鉄業向け特殊鋳物を手がける機部鉄工（山口県下関市）、半導体装置向け部品などの特殊メタル（福島県相馬市）に投資する。老朽化した設